



# 野球大好き博士が 防災を科学する！ 超高齢社会・情報社会の防災と減災

今年もまた、日本は長期的豪雨にみまわれ、河川の氾濫、土砂崩れなどの大きな災害が発生しました。あっという間に水や土砂にのまれてゆく道路、田畑、集落。その光景を見るたびに、私たちは心が凍りつく思いです。これからの超高齢社会、そしてネットが錯綜する情報社会で、私たちはどうやって自然災害から身を守るのか。野球をこよなく愛するタカラセンセイが、防災と減災を熱く語ります。

講師

講師 寶馨 Takara Kaoru

1957年生れ。京都大学教授。工学博士。滋賀県出身。日本における水文統計学の第一人者。京都大学防災研究所に長年所属し、豪雨洪水災害、土砂災害等に関する研究を推進する。国連防災の10年IDNDR、ユネスコ国際水文学計画IHPに参加し、国際共同研究も推進する。京都大学大学院では48人の博士を育てる。大学院では学際教育プログラムを実践。2018年にユネスコチェアWENDIを設立。学生野球にも長期に亘って貢献し、京大野球部の監督～部長を務めた。今後は高校野球にも関わってゆく予定。



参加費  
無料

日時 2021年

11月13日(土)

15:00～(講演60分+質疑30分)

オンライン講演となっております。  
QRコードより参加登録を行ってください。その後、主催者から招待メールが届きますので、お待ちください。

【お申し込み方法】  
QRコードを讀取り  
ご登録ください。

